

池田ゼミ中間報告（2017年11月）

「フィールドワークによる中小企業と地域の共生に関する研究」

★今年度の池田ゼミは、3回生（4人）1チーム、2回生（18人）4チームで活動しています。来年度からは、合同で活動します。

＜小阪商店街チーム＞：金道、三枝、佐藤、篠原、田中、寺本、永田

私たちのチームは、小阪商店街を活性化させるため、商店街のパンフレットを作ることになりました。活動内容は、夏休み前に商店街で取材をするところを決めて下調べをし、夏休みに取材と撮影を行い、パンフレットを作成するというものです。取材は担当者を決め、それぞれのお店に行きおすすめメニューを聞いたり、商品や店舗の撮影をしました。パンフレット作成では、インスタグラムをモチーフにした「Kosakagram」を作成しています。

これらの活動を通して商店街の方々の温かさに触れることができ、商店街の魅力を見つけていく中で、小阪という町を深く知ることができました。



＜フセラシチーム＞：久世、高嶋、竹弘、麦島



私たちのチームは、夏休み期間中に自動車部品のナットなどを製造している(株)フセラシの大阪本社（東大阪市）と三重工場に行き、工場見学とヒアリングを行いました。フセラシの各部署の方とお話をして、企業の仕組み、螺子業界、自動車産業の実態等、多くの事を学ぶことができました。現在、フセラシの企業分析をするために、企業形態や仕事内容等、様々な面から考え、SWOT分析等をしてレポートにまとめています。

SWOT分析

<強み> <ul style="list-style-type: none">・多様なニーズに応える技術を保有している・各部署で確固が取れている・人材育成力がある・常に改善できるところを考えている(従業員が毎月提案する)・常に最新の設備を導入していく・顧客の近くに営業拠点を配置している	<弱み> <ul style="list-style-type: none">・新しく従業員を確保するのが困難・知名度が低い
<機会> <ul style="list-style-type: none">・日本は自動車産業が栄えている・グローバル化が進んでいる・日本の優れた技術の需要が増えている	<脅威> <ul style="list-style-type: none">・競合会社の存在・低価格化・新規顧客が少ない・若者の離れ・公共交通安全の発展・新型自動車の誕生

＜黄山金属チーム＞：白江、高橋、藤戸



私たちのチームは、大阪市西区九条にある(有)黄山金属プレス工業所に行き、後継者に予定されている方からヒアリングと工場見学を行いました。具体的には、機械設備の見学や加工方法をお聞きし、そのあと同社や同業者の現状、九条の現状等、多様な現状を聞くとともに、現在していること、これからしようとしていること、さらには、今後の方針などを聞かせていただきました。それらをもとにSWOT分析を行い、改善提案を行います。

また、九条を中心とした若手後継者をメンバーとする「てづくり工場組合」と「三重県津市機械器具工業組合」との交流会に参加させていただき、そこでの意見交換の様子を聞かせていただきました。

＜電業チーム＞：今井、栗川、壽福、田代

私たちのチームは、電車線金具を製造販売している(株)電業で、1週間フィールドワークを行いました。そこで、会社概要や製造工程について学び、普段の生活では触れられないような体験をしました。なかでも、右の写真にあるような鑄造工程はとても迫力があり、印象に残りました。私たちチームもSWOT分析をして、電業への提案を行います。

新たな発見・体験ができる池田フィールドワークゼミナールと一緒に活動しませんか？



＜てづくり工場組合チーム＞：大平、警島、小山、前野



私たち3年生のチームは、大阪市西区九条にある町工場の後継者が組織した「てづくり工場組合」と連携を取り、歴史ある「鉄のまち 九条」を盛り上げるため、どのような取り組みを行っているのか取材しました。取材を通して分かったことを、より多くの方に認知してもらうにはどのような方法が効果的なのか考えた結果、てづくり工場組合のプロモーション・ビデオを作成することにしました。完成したものを組合や各企業のホームページ等に掲載し、情報発信できるように動画作成に取り組んでいます。